第４４回市民ふれあいトーク＝地域資源をアピールするまちづくり＝

要約版

日時　平成 25 年 4 月 19 日　18：30～20：00
場所　玉島市民交流センター

≪市長≫

皆さんこんばんは。今日は金曜日の夕方ご飯時というお忙しい中，多くの皆様に市民ふれあいトークにお越しいただき，心から歓迎を，感謝を申し上げたいと思います。また，今日は地域の皆さん，制服姿の高校生さん，大学生さんもいらっしゃっているんでしょうか，若い皆さん，地域の活動をしてくださっている皆さんなど，多くの皆さんにお越しいただきまして有難く思っております。

ここ市民交流センターでふれあいトークを開催するのは，初めてでございますけれど去年４月に玉島の市民交流センターがオープンして，本当に大変多くの皆様にご利用いただいてお，有難く思っております。今日は８時ぐらいの間で，題材は「地域資源をアピールするまちづくり」，皆さん方から色々と市のことについて，玉島のことについて，是非ご意見をいただきたいと思いますし，最初に私の方から玉島のまちについて思うこと，また最近の出来事について少しお話をさせていただきたいと思います。

玉島のまちは本当に歴史がある港が開港しましてから，３５０年を越えておりまして，また，倉敷市の町並み保存地区に指定されている地区であり，良寛さん，円通寺にはじまり，地域のお抹茶の文化，水谷候がこの港を開かれた時，羽黒神社ができ，そこを中心にしてまちができてきていること，また古くからの歴史を持つ乙島祭りがあり，市の重要無形文化財にもなっているということで，本当に歴史と文化に溢れたまちだと思っております。そして一方では，この玉島地区から船穂，真備地区に関しましては，岡山県有数の農業の地域ということで，桃，今皆さん非常に忙しくされていると思いますけれど、桃をはじめとして，葡萄，船穂地区におきましてはスイートピーや金時にんじんや大根など，倉敷市内の中でも有数の農業の地区だと思っております。一方では学園都市でもあります。玉島には作陽大学，作陽短期大学，職業能力開発大学校と高等教育機関が３つもあり，非常に優秀な高校もあり，今日，高校生の皆さんも来てくださっておりますけれど，地域の皆さんと一緒に色んな活動をしていただいていることに，大変嬉しくすばらしい活動だと思っています。地域ごとに農業であったり，また作陽大学のこともあり，音楽あふれる玉島ということで活動していただいたり，小原漁港をはじめ漁業をして頂いている皆さんもいて，一生懸命頑張っていただいているわけです。特に倉敷市の中でも私が持つ感じとしては，玉島の地域では本当に古くからの産業と，また新しく皆さんが取り組んでいただいている事業，一番新しい所では，玉島ハーバーアイランドが沖側に出来ていますけれど，玉島ハーバーアイランドは新しいどころか，世界で一番新しい最先端の飛行機の大きな部品を造る場所が出来ていまして，もう直ぐこの４月の２０何日かに工場がオープンしますけれど，世界の玉島に，今まさになってきているんじゃないかと思います。倉敷市内でも一番色々な産業があり，特色があるまちではないかと思っております。

また，文化という面では町並み保存地区がたくさん，皆さんが本当に良い町並みを残してくださっているんですけれど，やはり思いますのは，玉島は昔からの港町ということで，県外といいますか，地域外から来られている方のもてなしをするということで，もてなし，お茶の文化が発達して，今も良寛茶会をはじめとして，お茶の文化が非常に根付いていること，お茶があるということは，おいしいお菓子がある。それが，おもてなしの心が非常

に良く伝わる地域になっているというふうに心から思っております。本当に色んな特色がありますので，この地域資源をアピールするというので，どういうふうにしていくのがいいのかというのが，結構悩むわけです。児島でしたらジーンズのことでＰＲをしておりまして，今日も午前中，ジーンズの行事がありましたけれども，元々は繊維のまち，途中から繊維から学生服，そしてジーンズとなってくるわけですけど，ジーンズのことでテレビに非常によく出ているので，児島のイメージは世界に，日本の中でもそうですけれどもＰＲをされてきています。そして国立公園もあります。倉敷市内の各地区の中でも，倉敷地区では大原美術館の美観地区が非常に有名であり，そこにお客さんが来る。水島だったら水島コンビナートということです。玉島の地区では農業があり，文化があり，最先端の産業があり，音楽がありということで，色んな特色があるわけで，それは非常にいいことであるわけですけれど，一方で，特色を外へアピールする仕方が，逆に少し難しい部分もあるかなと，市の観光ＰＲとかする時に思ったりする部分もあります。皆さんが地域に根付いたそれぞれの産業を一生懸命やってくださっていることについて，市としてはこの倉敷市の文化や産業をＰＲしていくために，ここ最近では毎年，去年も東京や神戸，それからその前の年には鹿児島，今年は，東京，名古屋を中心にしてＰＲをする予定で，全国の大都市圏で倉敷市のＰＲをしております。市としてのＰＲ，それから今日，旗を持って来ていただいておりますけれど，ＪＡ，農協さんとしてのＰＲを一生懸命していただいており，私も一昨年でしたか，大阪中央市場の方に行き，マスカットオブアレキサンドリアの初売りのＰＲを一緒にさせていただきました。ＰＲの仕方，ここをもっとＰＲをしていくべきではないか，というところに個人的には少し悩むような所もあります。本当に色々ありますので，色々あるのはいいんですけれど，どこを出していくのがいいのだろうかということも，何でもあるよというのも強みですけれど，一方でどこをＰＲするのがいいのかな，ここらへんがＰＲが弱いんじゃあないかなとか，そういうところに悩むこともありますので，玉島の地域のこと，玉島，船穂，真備にかけての農業などＰＲの仕方について，今日，是非皆さんのご意見をお伺いしたいなと思い，こちらの方にあがっております。ざっくばらんに，町のもっとここをＰＲした方がいいとか，ＰＲの仕方とか，自分たちはこういう活動をしているので，もっとＰＲをしてもらいたいとか，そういうことについて今日お話を聞かせて頂きたいと思います。もちろんこの地域全般のことについて，お話を是非皆さんの方からしていただければありがたいと思いますので，どうぞよろしくお願いします。

≪参加者Ａさん≫

市長，失礼ですけれど前置きが長すぎる。１時間半なのに５０名いるんですよ。この人達が１分間しゃべったとしても，何人かが。これも私の前置きなんですけれども，毎月「広報くらしき」というのを家庭に配布しておられますね。３月号，４月号は目を皿にして見るんです。３月号に何を書いてあるかというと，人事，行政運営の状況を公表しますと書いてあるんですが，これはうそですよ，私に言わせたら。

今日の問題は，いいこと書いてますね，びっくりしました。２５年度予算の実施を事業にして１番から６番までのこと詳しく金額までつけてある。私だけがしゃべるわけにはいきませんから，もうちょっと噛み砕いて言いますけれど。地域経済が元気で人が集まりますということが書いてある。ここにさっき言われたように玉島地区と水島地区を結ぶ新高梁川橋を架けますと書いてある。これは絶対やってもらいたい。だけどこれだけでは私は満足しません。と言うのは高梁川に今４本の橋が架かっている。霞橋が一番最初に架かっ

たの。一番最初に架かった霞橋が，片側２車線なんです。その時の車の量というのは，今の車よりずっと低かったはずですよ。それで後３本架けたのに片側１車線だから，大橋，唐船の信号を通ったらノンストップで走っていけるんですが，倉敷市役所の横まで。あそこで信号が初めてあります。橋を渡ったところから片側２車線になって，その先は３車線になっているから，２車線になっているから６０ｋｍでぶっ飛ばせるんですよ。それが橋の所，７時半から９時までの通勤帯にどこを行っても橋を通り抜けるのに１時間以上かかるんですよ。何が原因かわかりますか。片側１車線だからです。国道２号線も船穂から上がって来るの。乗り入れがありますから，あそこでぶつからんのか私は不思議でたまらんのですよ。ぶつからんはずですよ。遅いもん。運転手も交互に入れているから，あそこで事故が起きたということは無いんです。橋を越したら２車線になっているんです。だから今度橋を架けられる時は，必ず２車線にして下さいということ。

≪市長≫

今，お話をいただきましたのは，１つには国道２号線の橋の事をお話してくださったと思います。凄い重要なことを言っていただいたと思います。この国道２号線の倉敷の市役所の方から，こちら玉島の方へ来る途中までは車線が広がっているんですが，橋のところが，今言われたように車線が１車線ずつなんで，非常に混むわけです。以前に比べたら少しは良くなったんですが。やはり橋の所が１車線ずつになっているんで，非常にボトルネックになっているということで混みますので，これは国の，国道の事業でして，市の方でも最重要の解決をしてもらいたいということであげております。

≪参加者Ａさん≫

片側２車線にならんのでしたら，船穂の人には誠に気の毒だけれど，９時までは通勤を止めてもらいたいんです。あそこでごっちゃになるから混むんで，橋を渡ったらサーっと。

≪市長≫

なるべく早くしてもらうように，頑張りたいと思います。ありがとうございます。いずれにしろ，地域の資源をアピールするには，市内の交通は非常に重要ですので，今良いことを言ってお帰りになっていますけれど，しっかり頑張ります。ありがとうございました。

≪参加者Ｂさん≫

玉島商業高校の校長です。本校は，地元の商業高校で地域で学んだことを地域に還元するということで，生徒は玉島について学び，学べば学ぶほど，玉島のことを好きになり，自分達が出来る何かアイデアを伝えたいということで今日来てますので，是非生徒の意見を聴いていただければと思って，よろしくお願いします。

≪参加者Ｃさん≫

玉島商業高等学校生徒会の者です。玉島には，タマシマガエルという絶滅危惧種のカエルが溜川公園に生息しています。ＮＰＯ法人「溜川を美しい川にする会」の方々が，保護活動をしています。

これはタマシマガエルのダルマをイメージしているキャラクターのダルマガエルのダッコチャンです。市長にもこのダルマガエルを好きになっていただき，今年度，玉島商業で

はダルマガエルを玉島の地域資源の一つとしていきたいと思っています。これについてどう思われますか。

≪参加者 B さん≫
玉島の地場産業にダルマというのがありまして，この絶滅危惧種のダルマと元々地場産業のダルマをかけて，ダルマガエルダルマというのが作られているんですが，なかなか。このちっちゃいのを作って活性化したいのですが，作ってくださる所が無いということで生徒たちは何とかしてこれを一つの起爆剤にしたいということで，今考えているということで紹介させていただいたと思います。

≪市長≫
ありがとうございました。ダルマガエルのこともお話をしたいと思うんですが，私の方から玉島商業高校の皆さん方がボランティア活動とか，地域の人達と活動したりということは，今はこのダルマガエルのことを中心にやっているんですか。他に色々やっていたりするのでしょうか。もし，そういうことがあるのであれば，せっかくなので，私もそうですけれども，皆さん聞きたいんじゃあないかと。

≪参加者 D さん≫
玉島商業の者です。正月にも行ったんですが，東北の被災地にお米を送ることをやっています。２年前に東北の地震があったので，被災地にお米や物資を送りたいと，文化祭などで一般公開をする時があるので，その時に集めています。

≪市長≫
お米を集めているんですか。それとも義援金でお米を地元のお米を買って送っているんですか。

≪参加者 D さん≫
お米を集めて，物資を。両方。

≪市長≫
両方。義援金を集めて，お米も集めて送っている。どこに送っているんでしたかね。

≪参加者 D さん≫
鵜住居（うのすまい）。

≪市長≫
釜石市の鵜住居地区ですね。ありがとうございます。被災地の支援。今凄いいいことを言ってくださったと思うんですけれども，玉島の地域の皆さんが東日本の大震災の支援ということで，特に釜石市の根浜地区という所，そして鵜住居地区などに対して震災直後から，ずっと物資を続けて送って支援をして下さっているんですけど，そこに高校生の皆さんも一緒に参加をして，自分たちの文化祭とか学園祭とかの時の義援金とかを送って支援

をしていることは，大変素晴らしいと思います。私たちもそうです。市職員が，今年も常時３人行っているんですけど，南相馬市と福島市と福島県に，技術職をずっとおくっているんです。今，救済から復興段階になったので，色んな公共施設を新しく建替えたり，道路を造ったりするというので，今土木職とか技術職の人が非常に求められているというので，全国の自治体から人をおくっているんです。そうすると，やっぱりむこうの皆さんたちは，来てくれた市のこと，若しくは救援の義援金とか色んなものを送ってくれた相手の市の人のことを，すごく，どんな所だろうとか，いい人が沢山いるんだろうなあとか思ってくれて，そして鵜住居地区，釜石市では今，西日本の中で玉島が一番有名な所だと思います，私は。こういう色んな繋がりでＰＲしていくことは，非常に重要なことじゃないかと思うので，そこの大きな一端を担って頂いているので，とても嬉しく思うわけです。

もう一つダルマガエルのことですけれど，ダルマガエルは絶滅危惧種の一つになっていまして，昔は笠岡，福山，広島の北部の方から名古屋ぐらいまでいたと聞いているんですが，今ほとんど少なくなって，この玉島地区，岡山にも少し生息していると聞いているんですが，少ないと聞いています。それを地域の皆さんが，玉島の特産のダルマと掛け合わせて，作ってくださってＰＲをしてくれているので，市としても今，溜川公園の所で，ダルマガエルが少しでも生息しやすい所になればと思って，ビオトープとかも少し造っているんです。活動してくださっている皆さんと一緒にやってくれていると思うんですが，自然の大切さをこのダルマガエルがいるということで,綺麗な環境を保っているまちだとか,若しくは例えば，水島の広江の方ではコウノトリが毎年飛来しています，豊岡市から。ですので，そういう綺麗な環境があるので，いい動物が来るまちということで，そういう面でもアピールできるんじゃないかと思いますので，大切にしていきたいと思いますし，市も溜川の環境整備とか，できるところは協力していきたいと思いますので，高校生の皆さんも頑張っていただきたいと思います。ありがとうございます。今まで市民ふれあいトークで高校生の方が発言されたことがないので,とても嬉しいです。ありがとうございます。

≪参加者Ｅさん≫

資源というものがどういうものを指すのか，ちょっと解らないまま来て，ちょっと守備違いかなと思いつつ来たんですけど。私が考えるのは「資源＝人」と。玉島が誇れるもの，先ほどおっしゃいましたけど，お茶文化がありますが，文化は人が為したもので，精神が具現化したものと考えています。古いものだけを並べたのでは博物館みたいになってしまいますから，そこに人が絡み合っていくということが無かったら，まちとは言えないと思います。玉島の中の人同士が，色々関係を持って共通点を見出せば，さらに色んな人が集まって，公倍数になれるんじゃないかと思っています。中だけでやってたんでは発展がありませんから，如何に人を外から呼ぶか。

私は菓子屋をやっておりますから，物づくりという観点から見てしまうんですが，アーティストを呼んでみたいなと思っております。玉島には文化の誇れるものが凄くありますから，これは個人のものですから，なかなかいっぱい出して使ってください，来てくださいというのは難しいものがあると思うんですが，いいものを出せば大変刺激になると思うんですよね。

実は朝，新聞を見ておりましたら，明日から大原コンテンポラリーがありまして，ちょっと読みます。この記事の中で高階館長が,「倉敷を訪れた作家が緑豊かな，児島プロジェクトでしょうね，アトリエであるいは有隣荘で江戸の風情が残るまちや美術家の持つ過去

の名画に触発されて製作することによって，その作品に土地の歴史や記録が現れ，倉敷市の魅力が立ち上がる。」とおっしゃっています。同じ様に玉島にはいっぱいいいものが有ります。私の知り合いの方のアート関係の方も来られて，色んな所に連れて行ったらびっくりして，凄い刺激を受けて帰って行かれて，また色んな所に発信されているんです。そういうものをどんどん取り入れて，外のアーティストを呼んで出来ればなと思うんです。実際にそういう活動をされている玉島の遊美工房さん，後でちょっと資料をお渡ししたいと思うんですが，大月ヒロ子さんという方がいらっしゃいまして，そういう方々の活動もあるんです。で，そういうところをもっと市の方としては，アピールしたり支援して下されば と思っております。

玉島全体から申しますと，先ほどもありましたけれども海があり，港があり，川があり，山には春は全山まさしく桃色になる桃畑の山もありますから，大変風光明媚でしかもそういう中に古いまちもあり，山陽自動車道があり，旧２号線があり，新しい２号線があり，橋があり，１車線しかありませんけど，新幹線があって，山陽本線があって，これが物凄い幅が南北狭い所に密集して，これだけ通っているというのは全国的に見ても，大変珍しい貴重な所ではないかと思っておりますから，そういう外から入りやすいというところも，大変特徴になってくると思いますので，そういうところをアピールしていただいて，新しいものと古いものとの長所が，文化や文化財に人とがどんどん絡み合っていけるような，まちづくりを支援していただいて，そこをアピールしていただきたい，よろしくお願いします。

≪市長≫

玉島とアーティストという観点でお話をいただきまして，ありがとうございます。今言われたことで，私もここ最近の行事，今日実は午前中から児島の行事と倉敷の行事が二つあったんですけど，そのいずれも，今言われたことと通じてまして。例えば大原美術館，大原美術館が何故ここまで有名になったのかということなんですけど，勿論良い絵があるということもあると思います。ただそれをどうやって多くの人に知ってもらうかということがないと，良い絵だけあっても人は来ないと。それで大原孫三郎さんや総一郎さん，また今回文化勲章をもらわれた大原美術館の今の館長の高階秀爾館長は，何をされているかというと，現代のこの時代になって大原美術館が酒津に持っていらっしゃったアトリエを改装しまして，勿論昔の姿を残して改装して，そこに全国とか，全世界からアーティストを呼んできて，そこで作品を作ってもらってアーティストの皆さんがこの大原，倉敷の地から芸術を発信して，そこが大原美術館から発信をしたということで，また大原美術館の名声と言いますか，世界での世界の芸術家の間での名前が広がっているということもあるというふうに今日お話されていたんです。また今日児島でジーンズフェスティバルをされているんですけれども，そこでも児島も元々繊維産業の町なんですけれども，繊維産業だけじゃなくて，今言われたような繊維産業とアートが，アーティストが結びついたらどうなるかというので，世界からのアーティスト，勿論有名な人も有名じゃない人も駆け出しの人もいらっしゃる，そういう人達がたくさん児島に来られて自分なりにデニムを使ったり，海の模様を写真に撮ったりとか，色んな展示の仕方をされています。それをまた来られた芸術家のアーティストの人達は，自分の国へ自分の地域へ持って帰って，こんな凄いことを児島で出来たよという話をされて，またどんどん広がっていくんじゃあないかと思うんです。玉島では，遊美工房さんが一生懸命頑張っていただいて，私どもの交流センタ

ーも，少し一端が担えればと思っているんですけれども，今非常に大事なことを言われたと思います。古いものと新しいものを，融合というのも変ですけれども，マッチングさせたらまた何か新しいことが起きていくんじゃないかと思いますので，既に遊美工房さんでも芸術家の方が来られたりしていらっしゃいますので，世界から逆にこの玉島のことを発信してもらえるんじゃあないかと思いましたので，凄い素晴らしい観点を言って頂いたと思います。ありがとうございます。抹茶とお菓子の文化もしっかりお願いします。心からお願いをいたしております。よろしくお願いします。

それから最初に言うのを忘れたんですが，地域資源とは何かという話をしないといけなかったのを忘れてまして，失礼しました。倉敷市のここ何年か，倉敷の地域の良い所，地域資源とはどういうものかとか，どういうふうに皆で考えていったらいいかということで，色んな方にお話を伺いまして，今のところ大きく３つ。特産品と老舗と魅所，「みどころ」の「み」は魅力の「魅」なんですけれども，大きく３つに分けて市だけでやってもいけませんので，市と商工会議所とか，商工会とか，是非また今後，農協さんとも一緒にやっていきたいと思っているんです。色んな経済団体さんと一緒になって，この倉敷の地域資源をＰＲしていきたいと思っております。例えば最近具体的に何をやったかといいますと，この老舗ですけれども，老舗の顕彰というものを始めました。老舗というのは本当に昔からその地域にあって，何百年も続いていらっしゃるお店，百年以上とか百年近く続いていらっしゃるお店，そこにあること自体でまちの格が上がり，魅力がある昔からの支持されているお店があるということが分かり，そこにお客さんが来られるわけですので，続いて一生懸命やってくださり，且つまちの皆さんに素晴らしいものを提供してくださっていることへの感謝の意を込めたいということで，老舗の顕彰をさせていただいております。倉敷市内で一番古い企業は，寿永３年，１１８４年に出来ました藤戸の藤戸饅頭さんが一番大きくて８百何十年ですね。藤戸饅頭は源平合戦の頃からあるわけです。倉敷市内でも古いんですけれども，中国地方でも一番古いところです。２番目が児島の熊屋酒造さんと言われまして，酒屋さんでいらっしゃいまして，倉敷市内で今判っているところで３番目に古いのが玉島の豊島屋さんでございます。享保５年，１７２０年ということで，もう３００年近くの歴史を重ねられていらっしゃるわけですけれど。

この３つに分類をして，市とか商工会議所や商工会で皆で何をしたいと思っているかと申しますと，まずは市内の皆さんに良く知っていただきたいと思っているんです。自分の地域のことだけは良く知っていらっしゃると思いますが，児島の会社のことは古い会社があってもなかなか知らない。玉島のことは知らないとなったらいけないと思いますので，まずは自分のそれぞれの会社のことや歴史のある会社，何故それが続いているのか皆で知りたい。それを倉敷市観光課とか商工課だけでＰＲしても，数がたかが知れていますので，我々市民皆で，「倉敷市にはこんな凄い企業があるんよとか」，「歴史があるところがあるんよ」とか，そういうことを皆で発信してもらいたいなということで，今こういう区分けのようなものを作って頑張っておったり，それから昨年は老舗企業の皆さんにも参加をいただきまして，新しく出来た倉敷みらい公園で地域資源，また倉敷市内だけじゃなくて備中地域の古い企業の皆さんにも参加をしていただいて，それを発信してもらいたいというのを今のところ始めております。やはり全国から見ても，１つの観点は非常に古くから歴史のある会社が作っていらっしゃるところ，またそういう歴史のある場所であるということは，やはり地域，物に人をひきつける大きなものになると思うんで，しっかりやりたいと思っています。

また，一方では新しい技術として，産業の，農業のことについても力を入れていきたいと思っています。どの観点でも結構ですので，こういう所がもっとどうにかならないかなとか，頑張っているんだけれどもどうかなとお話をしていただければと思います。

≪参加者 F さん≫

先ほどの方が言われていた，アーティストうんぬんのことも頷けるんですけど，市長さんも言われたとおり，有名な方を連れてきてという話も分からないではないですけど。玉島に住んでいて,何か心に引っかかるものがないと言えば,余りにも天候がよくて平和で,食べ物がおいしくて，ピリッとしたものがない。自分の中でもそうなんです。何がその原因かといったら，市長さんが言われたとおりに，この地区に歴史があると言うことを知らない。平清盛が大河ドラマでありましたけれど，去年は金環食のことで源平合戦のことが話題になり，私の住んでいる城地区が，源氏方の陣屋を構えた，城を構えたというので,「城（じょう)」という地名がそのまま残っているんです。下の資料館で見ましたけれど,反対側に平家側はどこかと言ったら，今石碑が建っている玉島大橋，源平大橋の袂だということが載っていたんですけど。これは源平祭りの時に皆さんと話をして,「えーっ」というふうに思ったんですけど，そうではない，天満町の上に，昔青い灯台が２台あったんですけど，その地区は平家方が陣屋を構えたところで，天満町と城・渡の地区で戦いがあった。全然、源平大橋とは異なるところになるので，事実を知ったんですけど。事実を知りながら歴史の深さを再確認したわけです。これだけ玉島乙島地区にも歴史が深いというのが分かって，自分たちの郷土に，私の心の中に誇りが芽生えてきた。こんな歴史のある所に住んでいる。それをずっとひも解いていきますと，私たちの城岡ノ辻地区に，乙島の巡礼八十八ヶ所があるんですけども，城岡ノ辻に，お大師子様というのが１２あります。私たちが推測するのに,源平合戦で１万２千人の兵士が戦って，１，２００人が亡くなったという。その慰霊のため極めて大きな意義を持って八十八ヶ所の１２のお大師子様があるんじゃないかと思っているんです。この市民交流センターが出来まして，下に海洋資料館が出来ました。その中で，皆さんが「おっ，これはすごい」と言って見ていただけますのが，千石船。日本の和船の会といえば，研究者，大学の教授が見に来ても，この千石船は，もう資料に基づいて，見るだけでも構造から何から何まですばらしいと折り紙がついてるんですけども。そのほとりにある，皆さんご存知ですか，高梁からの高瀬舟，高瀬通しにこう，船が，模型としてあるのが，発泡スチロールと厚紙で作られています。玉島の港，甕江（おおこう）というのが，江戸期においても瀬戸内の優良な，本当に必ず出てくる港として記されているんです。それを皆さんが知らないというもったいなさ。高瀬舟にしても，確実に実物をあの千石船に匹敵するようなものにして，資料館を充実させたい。どなたが来ても玉島の甕江が，日本に誇る，歴史のある港だということをアピールできるように,「なんじゃ，こんなものを置いているんか」と言われないように，資料を充実させていくのを住民でさせてほしいんです。みんなその気にはなっているんですけど，予算のことがありますので,それを市長さんにお願いしたいのと，皆さんが見ても，その中に乙島の祭りもありますけど，これも，本当にうわべだけの資料しかありませんから，玉島乙島地区の人間で，もっと，誰が見に来ても,「おお，すごい祭りがあるな」というふうに，見ただけでも分かるようなものに充実させたい。それを支援していただければ，とても有難いです。

千石船を作られた方の息子さんが，今，高瀬舟の模型を作っているんです。それはもう，

成羽に行き，建部町に行き，高瀬舟の研究に，県の博物館にも行き，実寸を測りながら作ったんですけど。高瀬舟でありながら高瀬通しとして現実に走っているものは，その地区地区で，全然違うんです。研究に研究を重ねて，これで間違いないだろうというものを，今作っているんですけど，私たちはそれを支援して，ここに置きたいんです。

≪市長≫
ありがとうございました。歴史のことで言っていただきまして。下の歴史のところのゾーン，私たちも歴史民俗海洋資料館をこちらに移転するにあたって，全部はなかなか持って来れないもので，どれかだけを選りすぐって持ってくるようになったので，以前と比べて，充実していないところはあるかと思うんです。一方で，入館者の方の数も，交流センターとか，湊ホールとかと比べて，少ないのも事実です。今言っていただいたように，皆さんが興味を持って見ていただけるような工夫をみんなでしていかないといけないとは思います。すぐに何を揃えるかと，どういうようにしましょうというのは，また皆さんとご相談できればと思うんですが，まあ今，まさに，展示しているようになっていると思います。これから充実を少しずつでもできればと思っておりますので，一緒によろしくお願いしたいと思っております。歴史を知ってもらうためには，玉島に来たときに，そこを見てもらえれば分かるというふうになればいいと思いますので。ありがとうございました。

≪参加者 F さん≫
すみません，それで，アーティストでなくて，住民にさせてほしいんです。

≪市長≫
分かりました。アーティストって言っても，先ほど言われたのが，有名なアーティストじゃなくて，いろいろ有名な方も居られますし，普通の学生さんもいらっしゃいますし，いろんな方もいらっしゃるので，私も，地元のみんなで一緒にやっていくことが重要だと思っておりますし，一方，外からの目を見て，外に向かって広げていただくことも，両方重要だと思っております。そんな高名な方だけ連れてきて，何かやるということは，今のところ考えておりませんので。

≪参加者 G さん≫
こんばんは。昭和の初期に東京の小学校で校長をしながらいわゆる地理学的なこと，もろもろのこと，学者であり，研究者であり，牧口常三郎と言う人物。民俗学で言うと，柳田國男さんですか，そういう方々とも近かったし，新渡戸さんとも近かしかったりというような方ですけども，その方が書物で，人が生きると書いて「人生地理学」という書物を書いています。人生と言うのはいわゆる「Life」という意味ではなく，人が如何に生きていくかということを，地理的なこととクロスオーバーさせつつ捉えていくという学問をされている中で，子どもたちに学んでもらうことが大事だということで，当時は「郷土科」というものを牧口が作っております。これにあたるものが市長さん，今の小学校では何にあたるでしょうか？

≪市長≫
社会とか地元の総合学習で，地元の勉強をしたりというのでしょうか。道徳ですか？

≪参加者Ｇさん≫

生活科というのがありまして，福島なんかでは，随分早くからこの生活科というのを含めて，ハザードマップというようなことを作って，津波てんでんことか言うような事例なんかも，前後あいして取り組ませていったという事例もありますけども。で，そういうのが回りつつ，子どもたちが自分の住んでいる郷土，これについて子どもたちの学習環境，インフラはいくらでもあるので，それにどうアプローチしていくかということを，お考えをお聞かせいただきたいが一点。

二つ目は，大きな話になりますけれども，今，人口減少社会に入りました。２０５０年には日本の人口が１億を切るというふうな状況の中で，当然原因は少子と高齢化，高齢化は少子に伴ってですけど。これからの社会は，ＧＤＰが伸びない，経済成長しない社会に既になっております。名目２％とか言っておりますけれども，ＧＤＰという指標はこれからの社会には通用しないというか，過去の遺物になるということが，先日ＮＨＫの番組でもそういう話があったりしました。これは私の考えていることなんですけども，お元気な高齢の方が，生きがいを持って暮らしていける，そのためには，ボランティアもいいんですけど，働ける場所作りも大事だろうと。自分の近しい場所でないと，遠方まで働きに行くのは大変だと思って。そういう高齢の方の働く場所ということを考えた中で私なりにイメージしたのは，貸出農園のようなところで何人かで一緒に作物を作って，自分で食べてもいいし売ってもいい。というふうなことが出来るんじゃないかなあと。いわゆる耕作放棄地っていうのが，たくさんあります。実際に岡山の東区の方では，山陽新聞に載ってましたけど，ホームセンタータイムを経営しているリックコーポレーションさんが，大々的に土地を借り受けるという形で，市民に提供し大規模な貸出農園を作る，市民の方にそこを使っていただくというふうな取り組みをしております。耕作放棄地の活用ということが，地域の大きな資源になるんじゃないか。

三点目は，住民･市民と公共の自治体を繋ぐ中間組織がない，ということが問題となっているということで，町内会もなかなか機能しづらくなっている。けれども，町内会いわゆる市民団体とか，これから伸びていくだろうＮＰＯ法人，法人になってなくてもいいんですけど，そういう市民の活動していく団体をどういう風に規制していくのか。私のいる大高学区では，十数年ぶりぐらいに，取りやめになっていた小学校区の夏の住民の運動会が，昨年夏に開催されました。いわゆる地域のつながりを作っていくために，ぜひやろうということで始まった。地域のネットワークをどういうふうに。

≪市長≫

ありがとうございます。子どもたちのこと，年配の皆さん方の活躍のこと，行政と住民の皆さんとの間のこと，大きく３つぐらいに分けていっていただいたと思うんですけど。さっきの人口減少社会のこと，実はちょっと皆さんに，私も一つ言いたいことがあります。先般，ここ１週間以内くらいの間に新聞で，日本の人口が減ってきたというのが，出ておりました。２８万人，去年よりも減ったというのが出てたと思うんですけど，それでその統計によると，倉敷市の人口は２０２３年から２０４３年までの間に４８万人から４２万人に減るんじゃないかという推計が出ておりました。いまから２０年したらですね。ところが一方で，それは国が全国ある程度一律の掛け率を使ってやったものなんですけど。一方で中国銀行さんとかが中心になってやっておられます岡山経済研究所というのがありま

して，これは，岡山県内の経済状況をここに団地が出来たとか，学校が，生徒が何人とか，いろいろ見て推計を出されているんですが，この推計で見ると，２０２３年に，４８万人だった人口が，４６万数千人に，少なくはなるんですけど，少なくなり方が，少ないんですよ。ですから，国の統計の前提の取り方によって違うとは思うんですけど，私たちの地域というのは，もちろん市内の地区によっても人口の増減は違うと思うんですけど，やはりなんといっても県南で，かつ岡山県の中核でありますので，多くの人からの注目があり，なるべくここに住みたいという人が多いと思います。

ですので，さっき言われた子どもさんからお年寄りの方までですね，特にこれから生産年齢人口が少なくなりますので，年配の先輩方が働いていただいたり，地域で活躍していただかないと，町が成り立たない時代になっていると思います。さっき言われた貸出農園，市の農園とかもありますけれど，それも本当に，最近貸出農園とかは，ほとんど満杯です。今少しずつ増やすようにしてるんですけど。なるべく皆さんがいろんな活動をしてもらって，さっきＮＰＯのことも言われましたけれども，市だけではなんでも全部できる時代ではなくなってますので，町内会の皆さんとか地元の皆さんとかＮＰＯとか。さっきのカエルのこともそうですけど，市だけでは公園を作るのがやっとです。でもそれを維持したり，希少動物をつなげていくためには，ダルガマエルのＮＰＯの人たちとか高校生が一緒にやってくれないとできないとか，そういうことになると思いますので，今からは社会が一個だけとか行政だけがやるんじゃなくて，幅広くみんながそれぞれ助け合ったり，いろんな観点で一緒にやっていくという時代になるんじゃないかと思っておりますので，そういうことを頭に入れて私もいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

≪参加者Ｈさん≫

この近くに住んでいる者ですが，皆さんが言われていること，全部意味があると思いまして，それを，自己ＰＲみたいに思われたら困るんですけど，実践しているところを紹介して，よければそうしてもらったらと思っています。しかも，お金をあまりかけなくて，先ほどアーティストの話しをしたら，やはり高いというのが一番あると思うけど，みんなが出来ればいいと，まあそういうことの一つなんですけど。

地域資源というのは，やはり一番はマンパワー・ウーマンパワーも含めてですね，それが少なくともここにはこれだけ熱意のある人が集まっているんじゃないかと思います。それからアピールとかＰＲとかね，そこらのことを思うということで，特別新しいことではないけど，実際やっていることを話させてもらおうと思います。

実は，「全国良寛大会」というのがここでありましたが，そのときに，私，絵が好きで，何かまちおこしが，と思っている時に，２回目なんですけど，全国良寛大会のお土産に，玉島の古いまちとか円通寺の絵葉書とかを作って，というふうなことをさせてもらいました。大きい紙に八枚の大きさで，輪転機にかけて，後から八つに切るということでした。それをやりながらわかって，安いところはあったんですが，やっぱり地域のことだということで，玉島の印刷会社，私の友達，幼馴染のところでしてもらったんですけど。１０００部×８枚ですね，それはそこが売って，半分くらいの金を，寄付でもよかったんですけど，もらいました。初めて，その後で残っている，たくさんしないと単価が高いですから，これは自分でするんで，と思ってしたら，結構会場で売れたところもあったりして，それも元が取れたんで，あとの１０００枚はどうしたかというと，地域の良寛荘なんかに頼んだら，置いてくれたのもあるんですけど，まあ今絵葉書は売れませんから，そんなにない

んですけど。知り合った人にですね，今の口コミです。電車に乗って座ったら，ただこう座るんじゃなくて,「あ,ここは空いてますか」と分かってても そう言って,にこっとして,笑顔で挨拶して,「おじさんはな，ここの玉島でね・・・」なんて話をずっとしていく。そういう形で口コミでするのが，少なくとも，安定してるんじゃないかと。さきほど誰かが言われていたように，玉島のことを知るっていう，つきあいの中でいろいろ教えてもらって，まず自分のまちを知って，しかも誇りに思うということがあるという。それをできるだけにこっとして，うなずいて，コミュニケーションとか。だから，マンパワーでもっとニコニコして，へえーそうですか，なんてね。それがまず，一番活性化することじゃないかなあと思っています。

あと，最近分かったんですけど，新島襄の物語。私もこれをＰＲしない手はないと思っています。篤姫が江戸に行く時に矢掛を通っているそうですね。石井家ではここを通ったという,「篤姫」には書いてないけど，そういっていたけど，皆さん無関心で結局ＰＲできなかったということがあるんで。ここでまた絵葉書でしようと思っているんです。とにかく，学んで，来て，口コミをどうかして広げてゆくと。手段として笑顔と。それを出来たらと思っています。実際には，ここの方が何人かで中国に行く時に絵葉書を分けてしてくれたんで効果はでたと思うんですけど。ＰＲと資源ということを話しました。

≪参加者Ｉさん≫

上成から来ました。さっきも港町の話がありましたが，玉島といったら港町だと思うんです。いまハーバーアイランドがあります。さっき市長からもお話がありましたが，日本エアロフォージが２４日にオープンします。これはすごい飛行機の工場です。私は，そのすぐほとりの方で仕事をさせてもらってたので，まだ仕事の最中なんですが。ハーバーアイランド，すごく立派だと思います。コンテナも今たくさんあります。それで，ガントリークレーンというのが，国内が一つと，外国航路が２つあります。もう少し待つと，もう１基出来ます，６月に。外国航路のほうで，３つコンテナが入ってくると思います。全てが貨物です。

貨物でなく，今度はお客さん，岡山県だと宇野だと思います，宇野港は水深が深くないので，大きい船がなかなか入ってきませんので，玉島の一番の魅力は，私はハーバーアイランドを生かして客船を定期的に呼ぶということをしていただきまして。新幹線も着きます，玉島には。倉敷の中でも交通では一番立派なところだと思っています。最初は国内のいろんなところを客船が行っているのがあります。宇野港がやってますが，これをぜひ玉島に呼んでいただきたい。次は，外国航路に行くということで。神戸についで，倉敷特に玉島，水島港をＰＲしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

≪参加者Ｊさん≫

玉島の中銀の向かいで生まれ，昔から玉島のまちは随分見てきております。昔はあそこで泳いだくらい水がきれいでした。昔の港のようにきれいにとはならないとは思いますけれど。いつもあそこを通って思うのは，川崎と柏島のほうに，ボートがいっぱい係留しておりますね。玉島の人ではなくて，県北の人が多いと聞いたんです。外国で素晴らしいレジャー施設というか，そういうところがありますけれど。そういう人たちに来て，お金を落としてもらうところを対岸に作って食事も出来たり，玉島の桃やいろんなものを売ったりするところができたらと。ボートで魚を採りに行って，そのまま帰るんじゃなくて。玉

島に少し落としてもらえるようなことを考えていただければ，昔からの港町ですので，やはり玉島は港じゃないかなと思います。ただ大きな船が入るんではなくって。昔は中銀さんの前の方に，みかん舟とか入ってたんです。そこで泳いだりもしました。丸亀と玉島は定期便が入ったりしてましたから。そこまではならないと思いますけれど，今係留している立派なボートの人たちが玉島に降りてくださる，帰るんでなくね。駐車場もあそこないですし。港を活発にするのが玉島じゃないかなと思います。少し考えてください。

≪市長≫

ありがとうございました。いろいろ歴史も含めて，新しいことも含めて，言って下さいましてありがとうございます。玉島は歴史からいっても港の町だと思いますので，港のこと抜きで玉島は語れないですし，新しい玉島ハーバーアイランドの会社も，飛行機の会社ですけど,港の先のほうにあるわけで,玉島は港と共に発展してきた町だと思いますので,これを生かさない手はないと思います。確かに今言われたボートの方たちが，玉島のまちに来てないということはもったいないですね。私も，ボートで県北の方が多いというのは調べたことがないので，調べてみたいなと思います。倉敷の美観地区の方もそこに留まってもらうために，おいしいお店屋さんが何軒か一緒にあるとか，若しくはゆっくりするようなところがあるとか，何かこう，場所みたいなものが，もしくは人が集まれるようなところができてくれば，人も滞在がしやすいし，ということがあると思います。それが，公共の施設ができるかどうかということは別にして。町のつくりとして，倉敷の方も美術館だけ観て素通り，みたいなことを言われていましたけれど，最近段々人が，食べて，長時間いて，泊まったり，というようになってきておりますので。港，町を使った面というのは，大事なところだと思いました。色々調べることから始めてみたいと思います。ありがとうございます。

≪参加者 H さん≫

私も知らなかったんですけど,今大河ドラマで,新島襄の奥さんのことやってますけど,新島襄は江戸から玉島まで船旅で快風丸に乗ってきたことで開眼したということがあって,そのお師匠さんが，川田甕江さんということでしたね。

≪市長≫

はい，二松学舎を開校されて，その時船で来られて川田甕江先生と書のやり取りをされて，高梁川流域の人たちから，山田方谷先生もそうですけど，いろんな感化を受けて，江戸で学校を作られたという。二松学舎の理事長さんもこの玉島には何度かいらっしゃっておりますので。確かに，昨年の源平合戦の，平家の平清盛に続いて，今年４月ですけどまだしばらくありますので，ＰＲしない手はないと思います。頑張ります。

≪参加者 K さん≫

はじめまして。フリーでコピーライターとか，地域づくりのことをやっております。市長さんが仰いました国産ジーンズ発祥の地・児島というのは，自分がフリーになる前３年間だけ，児島のジーンズメーカーに勤めており。その経験とか，社長への恩返しということで，コンセプトとキャッチコピーを作らせていただきました。これで大もうけと思ったんですけど，コピーに著作権料はありません。人の仕事を請けるだけですけど。

玉島では色々歩きまして，地元で続いているものづくりと商いが一番の地域資源じゃないかと。そこには人も文化も歴史も全部つながってくるということで，会議所の方を足場にしまして，産業観光を立ち上げ，今年で９年，来年で１０年目になります。先ほどお話に出ていた新島襄のもですけど，玉島に船で来るコースを作って高梁へ行きました。これも定員いっぱいのお客さんがいらっしゃいまして，本当大盛況で，今年８本産業観光やったんですが，玉島の３本は申込受付開始から２時間ほどで満員になります，そんな人気が続いているんです。ただ，市のほうが，満員になると困るというので，広報をしていただけませんでした今回は。なかなか皆さんに知っていただく機会がありませんでした。それとですね，これこそまさに産業観光で培ってやってきたことなんです。地元を知ってもらう，企業さんに窓口になってもらって，入ってもらう。お話を聞く，現場を見る，物を見る，買ってもらう，ということをずっとやっておりますので，できましたら，観光と産業がバラバラにならずに，そういう１０年の実績を踏まえてリンクしながらやらせてもらえれば，一番いいのかなと思います。

言葉だけでなしにですね，実際に気持ちも予算も含め，地域を支援してくだされば，こんなありがたいことはないと思います。

≪市長≫

本当に，日頃から産業観光をはじめとして頑張っていただいていることに，大変心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。市としても一生懸命頑張ります。

≪参加者Ｌさん≫

我が校にあるファッション技術科を中心に「テキスタイル同好会」というものを設立しています。昨年度から。ＮＨＫのＥテレでティーンズプロジェクトという番組で放送され全国的にも知名度は上がっています。市長のお話やパネルでも説明がありました，ジーンズの生地を使った衣服や鞄などを作っており，その作品を文化祭などで，来客された方に購入していただき，売上げを，玉島商業の方も言われましたが，東日本の義援金として被災地に贈らせていただいています。全国に放送されて知名度も上がっていると思いますので，倉敷をアピールする資源としていただければと思います。よろしくお願いします。

≪市長≫

ありがとうございました。倉敷工業高校の皆さんも頑張っていただいて，ありがとうございます。私もせんいまつりだったか行った時に，作ってくださっていた商品を購入させてもらいました。児島のジーンズの生地も使って，倉工らしい非常に良い物を作っていただいて，すばらしいなと思いました。東日本に寄付したりしてくださっているんですかね，ありがとうございます。こういう地元のものを作って，今後もされるときには，地元でこういう産業があるんだけれど皆さんが頑張ってくれて，自分たちも応援していますとか，言ってくださったりすれば，東日本の皆さんも倉敷市のことに興味を持ってくれると思いますので，これからもよろしくお願いします。

≪参加者Ｍさん≫

玉島の歴史と溜川について自分の想いを述べたいと思います。玉島の歴史については，源平盛衰記の時代から玉島はでていると思いますが，ＮＨＫで源義経を見たときに，玉之

浦というところから弁慶が屋島に船で渡って，義経がよく来たと言ったところ。戊辰戦争があったときには河井継之助，長岡藩の家老がでていますけど，今回看板がのっていると思います。それから円通寺に源平の日没，皆既日食が載っているんですけど。少しずつＰＲが遅れていると思うんです。備中松山藩，要は高梁市の飛び地だったわけです。ですから，大石内蔵助の舞台があるときは二人の内蔵助ということで，備中松山藩の家老と赤穂の家老が，水谷候の城の明け渡しに立ち会ったということです。それから，玉島では熊田神社といって神様になっている人がおるんですが，この人も家老です。実際には，「八重の桜」，板倉勝静という人が出演していると思うんですけど，この人が老中首座，江戸時代の一番最後の方なんです。こういうのをＰＲしとかんといけんと思うんですけど，神様になった人ばっかりが出て，玉島を歴女で回られる人なんかはわからないと思います。ですから看板とかで，きちっと説明しといたほうが良いと思います。私の祖父は明治１０年生まれで，亡くなる前には大石内蔵助が豊島屋の前の高瀬通しから松山へ行ったという，おじいさんの言い伝えですね。普通考えたら，お籠で備中松山へ赤穂から行くというのは大変だと思うんで，僕は海路が正しいんじゃないかと思います。そういうものも「伝」というかたちで残しておけば，後々まで続くと思います。

溜川については，溜川は岡山県のホームページに「溜川を美しい川にする会」，「特定非営利法人　溜川を美しい川にする会」というのがあるんです。それと倉敷市で「溜川を美しくする会」と同じ会の名前が３つあるので，これはどういう関係で，それぞれ皆活動しているのかなと。

ダルマガエルの件も，皆さんどこにでもおるように言われていますけれど，私は昭和３５年に溜川公園の西側１５０ｍのところに土地を取得して，おじさんおばさんが溜川公園の中に田んぼがあったんで，小学校の時代には参加しとった。そのころには確かにいました。私が住みだして昭和４５年に玉島の港のポンプが故障してから１週間，それから昨年・一昨年ですか，その時も玉島のポンプが故障して。カエルが住める状況ではない。上流の長尾地区とか上成の福島地区でないと住んでいないと思う。きちっと調査して。公園を作ったんですけどいいのかなという疑義を持ちます。

≪市長≫

ありがとうございました。「八重の桜」のＰＲというのは，昨年の平清盛のときも，まだまだＰＲ不足だったなと思っています。今回まだ４月ですので，これからテレビを見られた方も来てくださるんじゃないかと思いますので，熊田恰さんのことも始めとして，市のホームページにもこれからできることはあると思いますので，新島襄はこれからどんどん出てくるわけですので，しっかりＰＲしたいと思います。

それからダルマガエルの分は私の認識では，同じ会だと思います。「溜川を美しい川にする会」地元の皆さんを始め，取り組んでいただいていますので，ここと市も連携して，ダルマガエルがいるところは全部保護の区域にしましょうというのは難しい時代になっていますので，できるところで，この前カエルの専門家の先生とお会いしたのですけれど，カエルを移転させるということもできるらしいということも言われていましたので，ビオトープの中でできることについて，やっていきたいと思っています。

≪参加者Ｎさん≫

玉島商業高校では，商業教育の方を推進しているわけですが，商業教育といっても今，

中心となっているのはビジネス教育と言われています。これは，勿論，帳簿をつけたりする勉強はするんですが，新しいビジネスを創造していく教育ということが一番の目標になっていると思います。

玉島には商店街・商業資源がたくさんあったわけですが，この商業資源は残念ながら，衰退の一途をたどっていると思います。ただ，商店街をこのまま終わらせてしまうわけにはいきません。若い世代にビジネス教育を受けている子どもたちが挑戦できるような町にしていっていただきたい，商業資源を若い世代に循環できるようなシステムを考えていただけたらと思います。これだけ大学があり，高校がある，先ほど市長も学園都市だと言われたわけですが，ここで学んだ子たちが玉島に留まって，玉島を盛り上げていくような町に是非していただきたいなと思います。よろしくお願いします。

≪市長≫

ありがとうございました。今日は，玉商のみなさんも，倉工のみなさんも参加していただいて。せっかく農業の旗も掲げていただいているので農業のことも言っていただけれたらと思いますが，どうでしょうか？

≪参加者Ｏさん≫

船穂町ぶどう部会のものです。平素から伊東市長をはじめ，農林水産課の皆様には，大変お世話になっています。私がお話したいのは，毎年，市長にトップセールスでお世話になっている訳ですが，大変ＰＲの力になっております。ここ数年は８月のトップセールスが多いということで，マスカットのトップセールスの場合，ギフト期が時期として最適ではないかと考えております。市長のご予定もあるかと思うんですが，できましたらその時期のことを，再検討していただけれたらと思います。

≪市長≫

もっと早くが良いということですか？関東のお中元は７月？

≪参加者Ｏさん≫

７月上旬です。その時期が一番マスカットの需要期にあたるわけです。その時期が可能であればということで，よろしくお願いしたいと思います。

≪市長≫

なるほど。地域によってお中元の時期も違いますので，関東は７月ですね。わかりました。トップセールスをする場所によって，その地域のギフト期をみてやらないといけないということが，よくわかりました。ありがとうございます。ＪＡさんともよく相談して，させていただきたいと思います。

目の前に若い３人組のかたが，大学生ではないかと思われるかたが座っていらっしゃるんですが，職業能力開発大学校の生徒さんがいらっしゃるって今日聞いたんですが。

≪参加者Ｐさん≫

中国職業能力開発大学校・電気エネルギー制御科から参りました。自分は岡山市で，現在は学校の寮に住んでいます。この辺りのことを詳しく知らなかったので，こういう機会

があると周りの方の意見も聞けてうれしいというか，情報収集できるのでこういう機会があるのはよいと思います。しめるのが苦手ですが。本日はありがとうございました。

≪市長≫

しめていただいて，ありがとうございました。中国職業能力開発大学校・電気エネルギー制御科ですね。この前玉テレでも放送があったと思いますけれど，学校に訪問しましてロボットの大会がありましたよね。２月位。本当にすごい物を開発して，最先端のロボットをつくって，地域の人も見に行けれるようになっているんですよね。それで水島コンビナートや玉島ハーバーアイランドにもご就職されていると伺っています。本当に，玉島は桃から飛行機まで造れる地域だと思いますので，本当にすばらしい歴史がある地域だと思いますので，ＰＲしていきたいと思います。今日は倉敷小町の方が一番前に座ってくれて今年度の観光大使ですので，是非一言。

≪参加者 Q さん≫

今日は玉島について学ぶことができてよかったです。玉島にはこんな人がいるんだというのを改めて思いました。５月のゴールデンウイークにハートランド倉敷という倉敷の春を代表するお祭りがあります。５月１１・１２日の土日に玉島デイズという玉島をＰＲできる場所が設けられていますので，皆さんもお足を運んでください。

≪市長≫

いつも頑張ってもらって，ありがとうございます。玉島地域・船穂・真備の農業のことについて，皆さんのほうから歴史を大切にして，かつ新しいものをＰＲしたり，また外に対してＰＲしたり，逆に外から来てもらって，その人たちがＰＲしてくれるということの大切さを多くの方に言っていただいたと思います。若い方もたくさん来てくださいまして，色々活動していただけることに心から感謝をいたしています。今日，「地域資源をアピールするまちづくり」ということで，回答が何ということはないわけですけれど，市がこれから皆さんと一緒に，地域資源そして人づくり，まちづくりを行っていく上で，大変貴重なご意見をいただきまして，心から感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。